

陳 情 文 書 表

令和 8 年第 3 回神奈川県議会定例会

令和 8 年 9 月 1 8 日

陳情番号	1 1 4	付議年月日	8 . 9 . 7
件 名	ＯＴＣ類似薬の追加負担の実施を見送ることについて国へ意見書の提出を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
厚 生 常 任 委 員 会	横浜市中区太田町 6－8 4－2 大樹生命ビル 4 階 ユーコープ労働組合 委員長 積 哲 也		
<陳情の理由> 5月29日、参議院本会議で「健康保険法等の一部を改正する法律案」が可決、成立しました。「健康保険法等の一部を改正する法律案」は28本もの法律を束ねたもので、その中に、ＯＴＣ類似薬77成分1100品目の薬について、1割から3割負担の窓口負担とは別に「特別料金（薬剤の25%）」として追加負担を求める「一部保険外療養の創設」が入っています。 対象となる薬剤は、痛みや発熱など炎症をやわらげる消炎鎮痛剤や、蕁麻疹、花粉症、喘息など症状を緩和する抗アレルギー薬、皮膚疾患の保湿剤など、日常的に幅広い疾患で使われている薬です。保険外となれば消費税がかかることから、医療保険が3割負担の人は実質5割、2割の人は4割、1割の人は3割負担と大幅な自己負担増になります。 政府は「(受診せず) 市販薬を利用している患者との公平性」を理由にあげていますが、受診が必要な患者に追加料金のペナルティーを科す道理はありません。花粉症やアトピー性皮膚炎などアレルギー性疾患に苦しむ患者などの新たな負担は大きいものがあります。「現役世代の保険料負担の軽減」を打ち出していますが、国会での厚生労働大臣の答弁で明かになった1人当たりの「軽減額」は、年額400円（月33円）に過ぎません。 2025年12月の財務・厚労大臣折衝の合意では、将来的に「ＯＴＣ医薬品の対応する症状の適応がある処方箋医薬品以外の医療用医薬品の相当部分にまで対象範囲を拡大することを目指す」、「特別の料金の対象となる薬剤費の割合の引き上げについても検討する」とされ、将来的な対象医薬品の拡大と特別料金の引き上げを検討するとしています。 このようなＯＴＣ類似薬の「追加負担導入」は、自己負担を3割までとした健康保険法の趣旨に反します。患者の受療権や健康権の侵害につながり、受診控えや受診遅れなど、いのちに直結する問題となります。来年3月から実施するとしていますが、見送ることを強く求めます。 以上の趣旨から、神奈川県議会においては、地方自治法第99条にもとづき、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長に対して、ＯＴＣ類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書の提出を決議していただくよう陳情します。 <陳情の要旨> 国に対し、ＯＴＣ類似薬の追加負担の来年3月からの実施を見送ることを求める意見書を提出すること。			

陳情番号	115	付議年月日	8 . 9 . 7
件名	神奈川県認証ロゴマーク「Kanagawa-Ken」の発展的修正および手直し（デザイン修正案の公募等）に関する陳情		
付議委員会	陳情者		
総務政策常任委員会	座間市東原4-15-23 阿多義明		
【陳情の趣旨】 神奈川県が発表した、県の地形を犬に見立てたロゴマーク「Kanagawa-Ken」について、これが本県を象徴するデザインとして発信されている現状に対し、一県民として非常に不甲斐なく、慚愧（ざんき）の念に耐えません。 については、本ロゴマークを単に廃止・撤回するのではなく、本県が誇る歴史・文化や全国からの高い期待に真に応えるものとするため、現在のデザインをベースとしつつ、より洗練された「可愛い犬」へと発展的に手直し・修正（修正案の募集等）を行うことを求めます。 【陳情の理由】 1. 教育現場における実害と、正しい審美眼の追求 先日、小学生の子供がこの神奈川県の犬のロゴを真似て、図工の授業で絵を描いて提出したところ、学校の先生から「こんなに手足が歪んでいるのは、きれいに直すように」と注意指導されたそうです。実際に県のロゴを見ると、学校の先生が指摘される通り、不自然に歪んだ体形をしています。公教育が育むべき子供たちの正しい審美眼や、地理の学習において「正しく描けた」と先生から褒められるような、正確かつ美しいデザインへと昇華させることが、本県の教育的観点からも望ましいと考えます。 2. 先人が築いた歴史・文化・地域ブランドとの調和 本県には、古都鎌倉の歴史や横浜の開港文化、箱根の自然など、洗練された重厚な歴史と文化があります。また、広く県民に親しまれている「県旗（山ゆり）」や「県木（イチチョウ）」は、昭和時代に民主的なプロセスを経て決定された誇るべきシンボルです。現在提示されているデザインが、これら神奈川の持つ品格ある美意識とさらに調和し、高め合うものとなるよう、もう一段のブラッシュアップ（手直し）が必要です。 3. 知事主導による不透明な決定プロセスと組織的ガバナンスの欠如 本ロゴマークは、県民へのアンケートやパブリックコメントといった合意形成の手続きを一切経ず、特定の企業からの提案を知事トップダウンの独断で採用した経緯があるようです。庁内の専門部署による客観的な適否判断や、外部の歴史・デザインの有識者委員会への諮問など、行政として当然踏むべき専門的な検証プロセスが欠如しており、公のシンボルを私物化するような不透明な意思決定は極めて不適切です。 4. ゼンリン「全国1位」の栄誉と期待に応えるためのブラッシュアップ かつて地図大手の株式会社ゼンリンが開催した「犬に見える自治体」の投票企画において、我が神奈川県は「一番犬の形に似ていて可愛い」と全国第1位の栄誉に輝きました。これは全国の皆様から頂いた大変名誉な評価であり、知事や県がこの「素材の良さ（地形の美しさ）」に着目し、第1案としてロゴマークの形に具現化された英断自体は大変			

素晴らしい試みです。

しかし、現在の第1案は、川崎・横浜側の地形には本来存在しない「前に垂れ下がった耳（たれ耳）」を意図的に付け足したり、犬の口元にあたる本県の重要産業拠点「京浜工業地帯」の入り組んだ海岸線を平らに削り落としていたりしているため、実在しない「一頭（ひとこぶ）ラクダ」を思わせるような、造形的な歪みが一部に生じています。全国の皆様の「可愛い神奈川の犬」という期待に完璧に応えるためにも、地形への正確なオマージュと愛らしさを両立させた修正が必要です。

5. 県内主要産業が安心して活用できる「安全・正確・品格」への手直し

現在のデザインでは「右前足」と「左後ろ足」が不自然にくっついており、全体が歪んだ印象を与えてしまいます。県は「企業の商品パッケージ等は無償で使ってもらい、PRに繋げる」という素晴らしい方針を掲げていますが、例えば本県を代表する大手自動車メーカーなどが採用する場合、この前後の足がくっついた構造は、自動車の車軸やタイヤが歪んでいるかのような最悪のイメージに繋がりがかねません。

これは一例にすぎず、県内のあらゆる企業や店舗にとっても同様であり、このような歪んだ絵を自社製品や看板に用いることは恥ずかしく、周囲から不自然さを指摘されるリスクが分かっているため、恐ろしくて到底使用できません。ものづくり産業や地域の商店が安心して広く活用できるよう、足の構造などを洗練された形へ修正することを要望します。

6. 成功事例や先発県（千葉県）への敬意と、巨大タグによる広域連携の視点

全国を見渡せば、熊本県の「くまモン」のように、その洗練された愛らしいデザイン故に広く愛され、地域経済に多大な貢献をしている自治体マスコットの素晴らしい先例があります。また、県の形状を犬に見立てた「先発県」としては、東京湾を隔てた隣県である千葉県の存在があります。知事は会見等で千葉県との差別化や違いを強調されていましたが、本来であれば、先行して全国から愛されている先輩の「犬の県」に対して深く敬意を払うべきです。

本県は人口約960万人を擁する日本第2の都市であり、隣の千葉県は約625万人の人口を誇る大都市です。この海を隔てた2つの犬の自治体が互いをリスペクトしてタグを組めば、合計約1,600万人（日本の人口の1割以上）という超強力な広域連携市場が誕生します。排除し合うのではなく、「お互いに犬の形をした魅力的な隣県同士、切磋琢磨しながら共同で観光・経済誘致のキャンペーンを行うなど、共に手を取り合って日本全体を大きく盛り上げていこう」という広い視野と品格こそが、これからの本県のシンボルに求められます。

【結び】

本陳情は、県や知事の取り組みを単に批判し、ロゴを廃止することを求めるものではありません。せっかく「全国1位」と言ってもらえた素晴らしい素材（地形）を活かし、千葉県をはじめとする他県とも手を取り合って共栄できるよう、「今からでも、より県民や企業・店舗が心から誇りを持って使える『本当に可愛い犬』へと、多くの方から修正案を聞く、または専門的に手直しして発展させるべきだ」という、本県の未来に向けた建設的な提言です。

どうか県議会の皆様におかれましては、神奈川の誇りと美意識をより高めるため、本ロゴマークの発展的な修正・手直しとロゴの活用に向けた前向きな議論を起こしていただきますよう強く陳情いたします。

陳情番号	1 1 6	付議年月日	8 . 9 . 1 0
件 名	電気料金負担軽減策として原発再稼働と過度な再エネ普及の見直しについて国へ意見書提出を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
環境農政常任委員会	横浜市金沢区泥亀 1－28－E 6 0 7 幸福実現党 神奈川県本部 統括支部代表 壹 岐 愛 子 外 3 5 2 1 人		
理由 現在、イラン情勢をはじめとする中東情勢の緊迫化に伴い、原油・天然ガスなど化石燃料の多くを海外に頼る我が国は深刻なエネルギー危機に直面しております。加えて、今夏の厳しい猛暑による空調需要の急増と歴史的な円安基調が重なり、燃料輸入コストの上昇が電気料金を直接押し上げています。 政府は酷暑期対策として7～9月使用分に限った電気・ガス料金の補助を行っていますが、これは国民の税金を還流させた一時しのぎに過ぎません。この補助金が終了する今秋（10月以降）には、燃料費調整額や再エネ賦課金の負担がそのまま国民生活に跳ね返り、東京電力管内をはじめとする各地で家庭向け・企業が支払う電気料金が大幅に増える見通しです。 さらに、再エネ普及のために電気料金へ上乗せされている「再エネ賦課金」は、制度開始当初（2012年度）の一般家庭で年間700円程度であったものが、現在では年間2万円を超える水準（約29倍）にまで膨らんでおり、実質的な国民への増税として家計や企業の体力を奪い続けています。 こうした危機的状況下において、安定的かつ低コストで大規模な電力供給が可能な原子力発電の再稼働は、日本の産業競争力ならびに国民生活を守るために一刻の猶予も許されない最重要課題です。全国の新増設、半導体工場の国内立地などによって、首都圏をはじめとする電力需要は今後加速度的な拡大が見込まれています。欧州諸国でも脱原発政策がエネルギー安全保障上の失策であったと見直され、世界的な潮流は原発の活用へと回帰しています。テロ対策施設等の建設遅延を理由とした停止については、運転を継続しながら並行して施設整備を進めるなどの柔軟かつ迅速な運用が可能であり、再稼働を先延ばしにする理由はありません。政府の強い責任のもと、原発を直ちに稼働させるべきです。 また「CO2地球温暖化説」に基づいて、政府主導で進める「脱炭素政策」により、効率性や費用対効果の低い再エネへの投資が拡大しています。これは、GX（グリーン・トランスフォーメーション）政策とも呼ばれ、政府は、2050年までのカーボンニュートラル実現を目指しています。その投資規模は「10年間で官民合わせて150兆円」と莫大であり、政府は「脱炭素の取り組みと経済成長を両立させる」と主張しておりますが、これは日本を奈落の底に突き落とす愚策です。非効率で高コストな再エネや脱炭素技術に「投資」すれば経済低迷を招き、国力を低下させます。日本の製造業が高い電気料金に苦しむ一方、世界一のCO2排出国である中国は、石炭火力発電所を増設しています。エネルギー危機を回避するためにも、安くて安定的なエネルギー供給を目指すべく、脱炭素政策を見直し、世界最高水準の発電効率を持つ日本の石炭火力を最大限活用するべきです。県民の生活及び経済を守るために電気料金の負担軽減策として次の事項についての意見書を国会及び経済産業省に提出するよう強く求めます。 要旨 一、安く安定的な電力供給体制を構築するために実質的な安全性が確保された原発については、政府の責任において直ちに再稼働を進めること。 一、非現実的な脱炭素政策を撤回し、再エネ賦課金制度を廃止すること。 一、石炭火力の削減方針を撤廃するとともに、火力発電を含むエネルギー事業への過剰な制約を是正し、過度な再エネ普及につながる特定の電源を国が押し付けるような政策をやめること。 以上			

陳情番号	117	付議年月日	8 . 9 . 11
件 名	地方独立行政法人神奈川県立福祉機構についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
厚生常任委員会	横須賀市船越町7-58-35 神奈川県自閉症協会 会長 市川成子 外1人		
1. 陳情の要旨 本年4月に設立された地方独立行政法人神奈川県立福祉機構が、利用者・家族及び職員から信頼され、より良い支援を実現する法人となるよう、県において次の事項について必要な対応を講じられたい。 - 福祉機構が実施する研究については、その目的や内容を当事者・家族に分かりやすく説明するとともに、実施後には成果や効果を検証できる報告書を可能な限り公表するなど、研究の透明性を確保すること - 福祉機構における研究の倫理性及び透明性を確保するため、倫理審査に強度行動障害を含む知的発達障害の当事者・家族の視点を反映する仕組みを設けること - 福祉機構において新たな支援の展開を進めるに当たっては、国が示す強度行動障害への標準的支援を踏まえ、「チーム支援」や「予防的支援」等、これまで蓄積されてきた支援の考え方を十分に取り入れること - 利用者への支援及び職場環境の双方において人権尊重を徹底し、虐待及びハラスメントを許さない組織づくりが図られるよう、県から福祉機構に対する指導を徹底すること 2. 陳情の理由 神奈川県自閉症協会は、自閉症をはじめとする発達障害のある当事者やその家族・保護者などが多く会員となり、当事者・家族の立場から、より良い支援の実現を求めて活動している団体です。 私たちにとって、障害福祉は単なる制度上の問題ではなく、当事者の日々の生活や将来、そして家族の安心に直接関わる問題です。 地方独立行政法人神奈川県立福祉機構は、本年4月に設立され、中井やまゆり園をはじめとする県立障害者支援施設の運営を担っています。重度の障がいのある方々やその家族にとって、ど			

のような考え方に基づいて支援が行われるのか、また、新たな研究や支援がどのように検証されていくのかは、極めて重要です。

強度行動障害の状態にある方々への支援については、障がい特性などの個人因子と、行動が引き起こされる状況などの環境因子を分析し、それに基づいて支援計画を立て、実施、評価し、次の支援に反映させていくことが重要とされています。

また、複数の職員が共通認識を持って継続的に支援する「チーム支援」や、強度行動障害の状態に至ることを防ぐための「予防的支援」も重要とされています。

県では、知事の方針のもと、福祉機構において新たな支援の展開が進められています。こうした新たな支援を進めるに当たっても、国が示す標準的な支援や、これまで現場で蓄積されてきた「チーム支援」「予防的支援」等の考え方を十分に取り入れ、その有効性や安全性を検証しながら進める必要があると考えます。

また、福祉機構設立以前に行われたプレ研究については、その成果を疑問視する専門家の意見があるほか、研究報告書にも非公開部分が多く、当事者・家族の立場からは、その研究によってどのような効果が得られたのかを十分に確認することが困難な状況にあります。

重度の障がいのある方々を対象とする研究や新たな支援を進める際には、その目的、方法、倫理性及び成果について透明性を確保するとともに、実際に支援を受ける当事者や家族の視点を十分に反映することが重要です。

さらに、中井やまゆり園では、過去に職場におけるパワーハラスメントが問題となり、県が懲戒処分を行った経緯があります。

福祉の現場において、利用者への虐待や人権侵害が許されないことは当然ですが、同時に、支援に携わる職員に対するハラスメントも許されるものではありません。利用者への支援と職場環境の双方において人権が尊重されることが、より良い支援を実現するための前提です。

福祉機構において、理事長をはじめ役員、幹部職員からすべての職員に至るまで、虐待及びハラスメントを許さないという認識が徹底され、利用者・家族や職員が安心して相談・通報できる環境が確保されるよう、県から福祉機構に対する指導を徹底することが必要です。

私たちは、福祉機構が当事者・家族及び職員から信頼され、利用者一人ひとりの尊厳が守られた、より良い支援を実現する法人となることを願っています。

以上の理由から、県において必要な対応を講じるよう陳情いたします。

陳情番号	118	付議年月日	8 . 9 . 16
件 名	新型コロナワクチン接種中止についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
厚 生 常 任 委 員 会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 新型コロナワクチンには有効性がなく害しかない。 被害実態を把握、分析、公表するとともに 接種そのものを中止させるべきお願い。 2. 陳情の理由 新型コロナワクチンは、被害者救済制度の申請及び認定件数からもわかる通り、過去40数年間の様々なワクチン被害の件数をはるかに越えてしまいました。 政府のワクチン分科会長だった尾身茂さんは、接種が始まった頃は感染防止に効果があるとする していたが、昨年来、感染を防止する効果はあまりなかったと発言。 若者にはそもそもすすめていないなど意見を真逆に変えてしまっている事実がある。ため。			

陳情番号	119	付議年月日	8 . 9 . 16
件 名	インフルエンザワクチン、HPVワクチン含むワクチン中止についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
厚 生 常 任 委 員 会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 インフルエンザワクチン及びHPVワクチン（子きゅうけいがん）ワクチンには有効性がなく被害があるにも関わらず実行している。中止をお願いしたい。 2. 陳情の理由 ヒトの健康は、自己免疫が最も大事。 太陽浴びて人と会い、いろいろな活動をして心から愉しく過ごすことにある。 ワクチン接種は、 ①自己免疫を落とす ②打てば打つほど感染する と言うのが論文や良心的な研究者により発進されている。			

陳情番号	120	付議年月日	8 . 9 . 16
件 名	マスク禁止条例の制定についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
厚生常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 マスクはウイルスを防げず、酸欠により脳障害となっていくデメリットが県民に伝えられていない。マスクに対しての盲信からメリットに対しても誤解している方が多数。マスク禁止条例の制定を求めます。 2. 陳情の理由 マスクは健康に悪影響を与える。酸欠から自己免疫を落とし色々な病気にかかりやすくなるという事実が言われている。 病気で仕方なく必要な方を除き不要。デメリットを調査、PRするとともにマスク禁止をうたうレベルである。			

陳情番号	1 2 1	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	R 1 3 4 沿い鎌倉の海岸に県立図書館ホールの新設を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
文 教 常 任 委 員 会	鎌倉市由比ヶ浜 4 - 4 - 6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 海岸に県立図書館の新設を求める。 鎌倉時代、日本の中心地であった鎌倉には、ロクな公共施設がない。 2. 陳情の理由 鎌倉市には、行政センター内 4 ヶ所と中央図書館の 5 ヶ所に図書館がある。 どれもこれも老朽化が激しく古く狭い。 神奈川県として現代にマッチした新設図書館を材木座から稲村ヶ崎のあいだに設けることで 県民も多く訪れる鎌倉の新たな交流拠点にしてほしい。			

陳情番号	1 2 2	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	トラックステーション設置についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
産業労働常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 日々の配送に活やくしているトラック。 じつは止めたり休憩する場がない。 各地点にトラックステーションの新設をお願いします 2. 陳情の理由 トラックの役割は、述べるまでもない。 しかし、納品待ちや食事、休憩の場所は殆んど存在せず、路駐しているのが実態。 食堂や睡眠施設、温浴施設を併せた心地良い施設があれば労働者、運転者の負担負荷も下げられる。 全国少ない中、神奈川県がリーダーに。			

陳情番号	1 2 3	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	三浦半島に“車輪の聖地”の新設を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
総務政策常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1 陳情の要旨 三浦半島の人口減少、疲弊化が言われ続けているが“車輪の聖地”をつくることで再活性化につなげてほしい。 2．陳情の理由 神奈川県は自動車保有台数も多くバイクや自転車人口もたくさん存在。 しかし、楽しむ、又は遊べる場がない。 三浦半島は、土地の活用として また、経済活性化の起爆剤として“葉山国際村”を再整備するなど新たな拠点（交流、観光、スポーツ）を創造し整備することが必須だと考える。			

陳情番号	1 2 4	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	消防、防災に 2 輪部隊を導入を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
防災警察常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜 4 - 4 - 6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 災害時含めた緊急の場合、起伏があったり狭い道は入れないなど初動でつまづく機会がある。バイク（自転車）部隊の導入でそれらの対応をはかることが可能。導入をお願いします 2. 陳情の理由 現在、消防などの車両は 4 輪が主。2 輪の消火設備をつけたバイクや狭い道や坂など移動が困難な場所に対して、バイク、自転車は機動性が高い。初動の充実で救える命があると考える。			

陳情番号	1 2 5	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	神奈川県庁本庁舎に喫食環境を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
総務政策常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 食はヒトの営みの源 神奈川県は県産品も多く、食はどうあるべきかの発信含めて県庁舎に喫食スペースと食堂整備を求めます。			
2. 陳情の理由 食は大切であり健康をも左右する ①県民サービス ②職員の健康カンリ ③食育の発信拠点 ④災害時の防災拠点として ⑤1フロア展望食堂にする。 外部の飲食と競合するなら職員や県民は半額で提供すればよい。			

陳情番号	1 2 6	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	マウンテンバイクが走行できる環境新設についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
文化スポーツ観光常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 現在の相互交通社会の中で自転車に乗る人口が多い。どこでも走れるMTB (マウンテンバイク) があるが走る場所がない。 各自治体に1ヶ所位は整備してほしい。 2. 陳情の理由 マウンテンバイクは、走行能力が高く悪路でも走れ災害時などにも役立つ。 楽しみとして、健康増進としてスポーツやハイキング的な環境が欲しいが山々などでトラブルもある。 テクニックの学びなどからは危険回避力がうまれたりするが走れる場所が殆んどないのが実態。			

陳情番号	1 2 7	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	自転車政策の各自治体への積極的導入及び推進を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 自転車政策は神奈川県にあるが導入したい自治体も多い。 S D G s 持続可能型社会を目指す日本において政策の積極的推進をお願いします 2. 陳情の理由 神奈川県では、自転車政策、計画の推進が各自治体まかせである。 県全体として導入及び推進レベルが低い。 自転車政策は、京都市が日本一であり2000年から26年やってきているが ①走行環境 ②駐輪環境 ③教育 ④表示表識 ⑤けいもう 事故も多いことから県として整備推進を求めたい。			

陳情番号	1 2 8	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	鎌倉高校前のR 1 3 4 沿い歩道を自転車、歩行者分離の表示表識カラーレーン化を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 鎌倉での有数の観光地、鎌倉海岸。 鎌倉高校前は、海岸側に歩道がないが江の電側の広い歩道は歩行者は横に広がって歩く。危険なのでカラー舗装して自転車歩行者を分離してほしい。 2. 陳情の理由 海沿いを七里ヶ浜駅や腰越から歩き撮影や散歩、ランなどに使われているが自転車が走るのに歩行者に通せんぼされているのが実状。 最低でも分離させてください。 事故、接触の多発地点です。			

陳情番号	1 2 9	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	R 1 3 4、鎌倉部分の自転車ピクトグラム拡幅化及び反射材設定についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 R 1 3 4沿い、最近やっとひかれた自転車ピクトグラムが細すぎて認知されなくキケンなので拡幅化（逗子市と同じく）を求めます。さらに反射材をつけることで夜間暗い場所でレーンがわかりやすくなり安全につなげることができます。 拡幅化と反射部の設置を早急にお願いします。 2. 陳情の理由 太平洋湾岸自転車道整備の一環でR 1 3 4海沿いに自転車ピクトグラムが設定されたが、笑えるぐらい狭い。 何の為のピクトグラムかわからない。 三浦からずっとひかれているが他は広いが鎌倉市部分だけ異様に狭い。			

陳情番号	130	付議年月日	8 . 9 . 16
件 名	箱根大観山P A 食堂お手洗い営業時間拡大についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 朝早めから夕方、夜までツーリングドライブなど多い大観山パーキング。 営業時間短すぎてトイレすら大変。 委託していると思うが時間拡張をお願いします。 2. 陳情の理由 アーネスト岩田が関わる大観山P A 営業時間外のトイレが貧弱で狭い。 実態をみると、営業時間を拡大し朝定食など楽しめるようにして 欲しい夏は4:30から明るいために日の出の撮影を望まれている。			

陳情番号	1 3 1	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	JR大船駅付近再開発及び立体交差化についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 渋滞、混雑の元となる踏切が多数存在する大船駅は利便性も悪い。全体再開発を早急に求める。 2. 陳情の理由 JR大船駅は東海道線、横須賀線京浜東北線及び湘南モノレールがおり藤沢駅と同じく交通の要衝である。 古く老朽化した駅において鎌倉市としては地域人口がナンバーワン。 横浜市栄区と合わせると昼間も夜間も人口が多くバス待ちもすごい。 再開発することで問題の解決を。			

陳情番号	1 3 2	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	鎌倉の海岸沿い、整備についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜 4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 鎌倉の海岸は、いやしの場所として地元民や県内外からの観光客でにぎわっているが歩道などの環境が酷く観光地としても恥かしい限りです。 キレイに整え直してください。 2. 陳情の理由 海岸を歩けばわかりますが、歩道は凸凹で修正したつぎはぎだらけの歩道。 坂の下付近からはタイルが欠けはがれ景観的にも“これが鎌倉？”と言うほどみすぼらしい道となっている。材木座から由比ヶ浜に向かう歩道も階段がありつながっていないために自転車利用者はR134の車道を横断していてキケン。 鎌倉高校前は人が広がり自転車通れない。 分離を。			

陳情番号	1 3 3	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	神奈川県海岸沿いに海上交通網の新設及び整備についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／N P O鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1．陳情の要旨 海岸の多い神奈川県は海を活かしていない。物流含めた海上交通網の新設でモーダルシフトとインフラ革新、新たな観光のルートをつくってほしい。			
2．陳情の理由 海岸線に様々な車両が走っているが通過交通も多く渋滞も助長する。地元民が走りやすく、かつ新たな海上交通網により、新しい移動が可能で観光の分散化にも貢献する。 短距離としては、双胴船でバイク搭載（原付とか）可能な船 中距離としてはカーフェリー。クルーズ船ほかを想定。			

陳情番号	134	付議年月日	8 . 9 . 16
件 名	大型バスに代替可能な空間交通の導入及び整備を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 渋滞などのエネルギーのムダやバス減便の抜本的対策として大型バスを空間交通（新型モノレール）に変え、インフラ変革を求める。 2. 陳情の理由 高齢化での免許返納、人手不足によるバス減便など、公共交通の不安がよく言われるようになってきた。 今の政府や自治体は、ライドシェアや自動運転しか言わないが、ともに地上の道路を使うもので渋滞や混雑を助長する。しかし、空間である地上の上部は空きがあり、電柱機能を持たせることで景観upと利便性の両立が可能。			

陳情番号	135	付議年月日	8 . 9 . 16
件 名	箱根 芦ノ湖 元箱根にレストハウス新設を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
文化スポーツ観光常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと/NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 箱根の観光中心地元箱根はバスターミナル遊覧船、駐車場があり最もにぎわっている。セブンイレブンなどコンビニもあるが観光客が食べる場所がなく店の前で立って食べている。休憩スペースすらないので県立でレストハウスをつくってください 2. 陳情の理由 バス待ち、湖畔や美術館、ハイキング、ツーリング、ドライブで最も混雑する元箱根は公共の休憩する場所がなくコンビニで買っても立って食べる始末。これらは衛生的にも見栄え的にもいいとは言えない。適切な場所を。			

陳情番号	1 3 6	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	鎌倉市内に県立の新設芸術大学の設置を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
文化スポーツ観光常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 公共の大学がないために都会に行かねばならないので、三浦半島、鎌倉市内に県立芸術大学の 新設を求めます。 2. 陳情の理由 かつて昭和に鎌倉大学（鎌倉アカデミア）があり、輩出された方々もたくさんいる。 文人や文化芸術、歴史の深い鎌倉はカルチャー教室が盛んで人的パワーも多い。 市民が通える大学もなく都会に行くしかすべがない。 地域活性化として市民も通える県立芸術大学の設置、新設を求める。 場所は、例えば野村跡地。			

陳情番号	1 3 7	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	世界的な自転車レースの誘致を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
文化スポーツ観光常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜 4 - 4 - 6 鎌倉ねくすと／N P O 鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 自転車は環境に優しい乗り物であり健康増進にも貢献している。 神奈川県としての自転車スポーツ振興からあらためて自転車活用の喚起をしてほしい。 2. 陳情の理由 サイクルツーリズムを推進しはじめた神奈川県は、フラッグシップとなるスポーツイベントを誘致することで自転車の認知及び活性化産業振興をはかることができる。 日本でまだ開催されていないツールドフランス又はジロデイタリアの神奈川県での開催を希望する。			

陳情番号	138	付議年月日	8 . 9 . 16
件 名	県立の自転車トラック競技場新設を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
文化スポーツ観光常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 自転車トラック競技はオリンピックにもつながり、競輪発祥の地 日本として伊豆ベロドローム民間施設しかない。鎌倉市の深沢再開発の中に鎌倉ベロドロームを県立で造ってほしい。 2. 陳情の理由 神奈川県にベロドロームを造ることで日本中から学生含めた自転車スポーツ者が集まり活性化につなげられる深沢はJR大船車両基地の跡で広大なスペースがある。			

陳情番号	1 3 9	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	道の駅ちがさき、渋滞対策含めたレイアウト変更についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1 陳情の要旨 道の駅ちがさが出来たことでR134海沿いの道が大渋滞化した。 早急な対策として専用入口道など追加の整備を求める。 2. 陳情の理由 R134は比較的快適な海岸ルートであったが道の駅営業後、かなりの割合で渋滞が発生している すすまない、渋滞で事故するなど多発している現状を見過ごさないできちんとした対策を施してください			

陳情番号	140	付議年月日	8 . 9 . 16
件名	自転車駐輪場の整備と容量拡大についての陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4-4-6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺田 浩彦		
1. 陳情の要旨 神奈川県に自転車政策はあるが各自治体の裁量に委ねているのが事実。 主体性のない鎌倉市のような自治体は駐輪場もなくあふれかえっている。 県として計画と指導、整備を求める。 2. 陳情の理由 駅、商店街、交共施設、街中あちこちが止めにくいのと容量が小さすぎる為に止められない。 県全体を見まわして何が足りないか現状把握から増床してほしい。			

陳情番号	1 4 1	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	北鎌倉駅付近含む自転車レーン整備についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1．陳情の要旨 北鎌倉駅付近含む八幡宮から大宮へ抜ける県道は自転車もよく通る。 自転車レーンが安心安全には必要。設置を求めます。 2．陳情の理由 鎌倉市内へ向かう道の中で鎌倉駅に向かう主要の道である県道は、自転車や歩行者も通るが、 自転車ピクトグラムやレーンがないために走りにくく危険。 狭い道だからより（設定）している京都市の自転車政策を見習い早期の自転車レーン導入が必要。 事故も減っておらず、増えている。			

陳情番号	1 4 2	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	西湘バイパス大磯 I C 付近にパーキングエリアの新設を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜 4 - 4 - 6 鎌倉ねくすと／N P O 鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 西湘バイパスの大磯付近に P A をつくることで経済活性化、及び休息可能な安心できる環境をつくってほしい。 2. 陳情の理由 西湘バイパスには現在上下 2 ヶ所に P A があるが狭く混雑している。 大磯付近の風光明媚な場所、海側につくることで新たな活性拠点をつくることができると考える。 そこそこ長い西湘バイパスは休憩ポイントが少なすぎるので長時間の運転となり危険度が増す。 横浜の大黒 P A 並みが適切かと。			

陳情番号	1 4 3	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	逗子なぎさ橋から小田原までをつなぐ海岸沿い自転車（歩行者、ラン）専用道の整備を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／N P O鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1．陳情の要旨 神奈川県の特徴は、太平洋に面した海岸が豊であるが、自転車や歩道の環境が悪くずっと歩いたり自転車でいけない。 安心、安全、サイクルツーリズムを推している神奈川県はなぎさ橋から小田原に至る海岸沿いに専用道を設けるべき。 2．陳情の理由 海岸沿いは、歩行者も自転車も車道を使う又は隣接した場所を通らなければならない、危険度、事故や接触する確率がある。 完全に分離した専用道（自転車、歩行分離）することで快適で安心安全な環境ができる。			

陳情番号	1 4 4	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	R134、135自転車ピクトグラムの自転車レーン化を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 R134、135にひかれている自転車通行帯 ピクトグラムではなくレーン化を希望。 法改正が必要なら改正依頼をお願いします 2. 陳情の理由 自転車ピクトグラムは矢型の表示、通称 矢羽根であるが4輪車に幅寄せをされたり信号で 通せんぼされることも多々ある。 極めてキケンではあるが、原因は表示にあるのが一つ。 ピクトグラムではなくカラー舗装で自転車レーン化してほしい。			

陳情番号	1 4 5	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	箱根（大観山、芦ノ湖、仙台原）含む自転車環境の整備についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1．陳情の要旨 箱根周辺は、ドライブやツーリングサイクリングにも最適でそれらの人も多い。 自転車レーンをひくことで安心安全を担保できるので早急な実現をお願いします。 2．陳情の理由 自転車で行くと、バス、車、バイクとの速度差があり、草もはえまくっていてめちゃくちゃ走りにくいし、危ない。 自転車ピクトグラムすらなく、ゆっくり走るのもコワイのが実態です。			

陳情番号	1 4 6	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	鎌倉の海岸にアートホールを併設した県立ホテルの新設を求める陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
文化スポーツ観光常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜 4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 海岸沿いが長い神奈川県に絶景を楽しめる宿泊施設をホテルが数軒（1 ケタ）しかない鎌倉に新設してほしい。 2. 陳情の理由 鎌倉は神奈川有数の観光地でありかつては保養地としてにぎわっていた。 鎌倉市は旧鎌倉地域に宿泊施設が少なすぎて日帰り客だらけである。 材木座のR134の壁（トンネル）や鎌倉海岸由比ヶ浜にあった鎌倉海浜ホテルなどの場所にアートホール併設の宿泊拠点を整備。新設してほしい。 県立でつくすることで人材教育と雇用の創出がはかれると考える。			

陳情番号	1 4 7	付議年月日	8 . 9 . 1 6
件 名	海岸線及び河川水害検知ランプの導入についての陳情		
付 議 委 員 会	陳 情 者		
建設・企業常任委員会	鎌倉市由比ヶ浜 4－4－6 鎌倉ねくすと／NPO鎌倉自転車振興会 代表 寺 田 浩 彦		
1. 陳情の要旨 神奈川県は海岸が多いが、津波や水害のキケンがわかりにくい。 海岸沿いにランプを設置することで誰が見てもわかる防災ランプを設置してほしい。			
2. 陳情の理由 海岸沿いは、風や波、クルマの音で放送があってもきこえにくく電光ケイジ板も殆どない。 目で見えてわかるランプが点滅や点灯、色を変えることでキケンが明確になりヒナンにつながれる 夜間の満潮もわかりにくい。			